

ビデオ 通信

2022年
7月14日(木)
No.4585

月・木曜日発行
月額：¥11,000(税込：¥11,880)
発行：飯澤 剛
編集：齋藤 浩一

ユニ通信社

〒114-0024
東京都北区西ヶ原 3-57-17-202
TEL：03-5422-7515
FAX：03-5422-7516
E-mail：vt@uni-press.net

パナソニック映像

「KAIROS クラウドサービス」をデモ

東京ビッグサイト～名古屋～東品川をインターネットで接続
高画質／低遅延／ローコストの「リモートプロダクション」を訴求



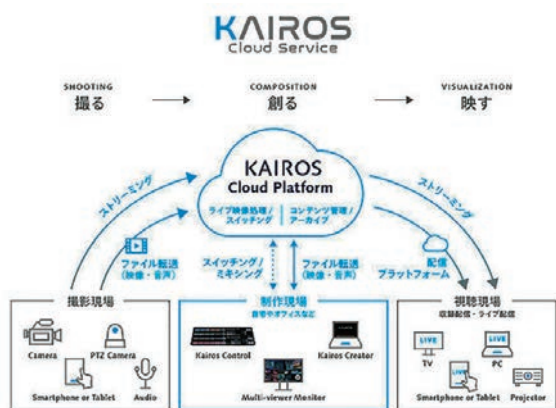
大盛況の第9回「ライブ・エンターテインメント EXPO」パナソニック映像ブース

パナソニック映像(株)は、6月29日～7月1日に東京ビッグサイトで開催された第9回「ライブ・エンターテインメント EXPO」に出展し、パナソニック コネクト(株)がこのほどサービスを開始した「KAIROS クラウドサービス」の訴求を行った。「KAIROS を活用したリモートプロダクションサー

ビス」のデモンストレーションでは、会場ブースと名古屋および東品川をインターネット回線で結び、名古屋で撮影したスラックラインの演技映像と、東品川にあるスタジオでの実況・解説映像をクラウドにアップし、イベント会場ブース内でコントロールした実際の高画質・低遅延映像を来場者に見せるとともに、Vimeo によるライブ配信を行った。KAIROS オンプレミスシステムによるライブ中継や配信で数多くの実績を持ち、KAIROS クラウドシステムの開発テストにも貢献している同社の説得力のあるデモンストレーションに対する来場者の関心は高く、期間中のリード（顧客見込み）数の目標を上方修正する盛況ぶりだった。同社では今後、ローコストで簡単に実現する「KAIROS を活用したリモートプロダクションサービス」を、コンテンツオーナーやイベンターなど同社としては新しい顧客層に訴求していくとともに、KAIROS を使った映像制作のサポート事業・コンサルティング事業も展開していくという。

サブスクリプション型映像制作ソリューション

「KAIROS クラウドサービス」は、自由度の高い映像制作を可能にした IT/IP プラットフォーム「KAIROS」をクラウド上に構築した「KAIROS クラウドプラットフォーム」と様々なアプリケーションを連携することで、「撮る・創る・映す」ワークフロー全体をシームレスにつなぐことにより、



現場からネットワークにつなぐだけで、省力化および機材数の最小化と、リモートによる分散型ワークフローが可能になり、約30%の業務効率化を実現する。さらに、サブスクリプション型サービスで初期投資を抑え、最適かつ最新のサービスをいつでも、どこでも利用でき、手軽により良い映像を制作できる環境を提供する。また、ライブ映像制作に必要な機材や設備を完備したコントロールルーム「KAIROS コネクトセンター」を、東京（TENNOZ Rim 内）と大阪（北門真事業所内）の2拠点を開設している。

「KAIROS クラウドサービスでリモートプロダクションが手軽に実現」を訴求

「ライブ・エンターテインメント EXPO」パナソニック映像ブースでは、イベントにおける映像・音声および配信を会場・中継地・制御スタジオをレイアウトフリー（遠隔地含む）で実現する「KAIROS を活用したリモートプロダクションサービス」についてデモンストレーションを行った。愛知県名古屋市のスラックライン パーク ガンバデで撮影するスラックラインの演技映像と、東品川・TENNOZ Rim 2階にある KAIROS コネクトセンターの実況・解説映像をクラウドにアップし、展示ブース内に構築したコントロールシステムでスイッチングやテロップ出しなどの操作を行い、高画質・低遅延の映像を来場者に披露すると同時に、動画共有サイト「Vimeo」でのライブ配信を行った。



デモでは名古屋と東品川で撮影した映像をクラウドにアップし、会場内でコントロールした映像を会場内で公開するとともにVimeo（円内）でライブ配信した

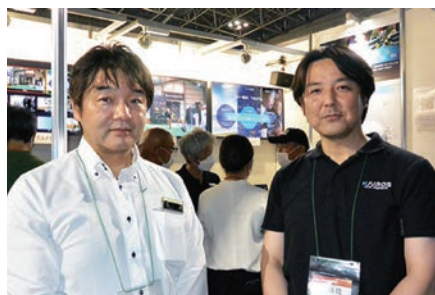
今回の「ライブ・エンターテインメント EXPO」に出展した狙いについて、パナソニック映像マーケティング・プロデュースグループ プロデューサーの柴田大輔氏は〈パナソニック映像では、パナソニックグループの映像制作会社として、コロナ禍における様々なオンライン中継や配信を、「KAIROS」をオンプレミスの形で活用してきました。一方、6月27日からスタートした KAIROS クラウドサービスは、サブスクリプションで皆さんが手軽に使っていただけるプラットフォームとなっており、これまで中継車や専用回線など非常にコストがかかっていた高画質かつ低遅延なライブ中継をリーズナブルに実現できます。今回のイベントでは、「KAIROS クラウドサービスをこのように使えば、リモートプロダクションが手軽に実現すること」を、お客様に実際に見ていただくことで認知と理解を深めていただくことを目的に出展しました〉と説明する。

また、マーケティング・プロデュースグループ 東京3チームチームリーダー／プロデューサーの秋山昌徳氏は〈今回のイベントに出展した狙いの1つとして、KAIROS を活用したライブ中継・配信のユーザー層を拡大させることがあります。これまでの当社のお客様は制作会社や広告会社、

ローカル放送局など映像業界が中心でしたが、今回の展示会では、KAIROS クラウドサービスをサブスクリプションとして実際に利用いただくプロダクションとともに、KAIROS 活用のプロデューサーやオペレーションを含めたトータルサービスとして委託したいというニーズを持つコンテンツオーナーやイベンターなど、イベント業界に重きを置いた PR を行い、顧客層の拡大を期待しました」と語る。また、出展の手応えについて〈リード目標は当初 100 社でしたが、初日だけで 90 社以上となるなど、大きな反響を得たため、期間中に目標をリード獲得 200 社へと上方修正し、それも最終日には達成しています。展示会自体、思った以上に沢山の方々が集まって盛り上がっていますし、様々な企業の方々と交流を持つことができたことは、KAIROS クラウドサービスの認知度向上に大きな貢献ができたのではないかと考えています〉としている。

KAIROS による高画質・低遅延・ローコストのリモートプロダクションサービスを提案

パナソニック映像における KAIROS クラウドサービスのビジネス展開について、秋山氏は〈「KAIROS を活用したリモートプロダクションサービス」を、コンテンツオーナーおよびイベンターに対して訴求し、マネタイズしていきたいと考えています。また、KAIROS を使った映像制作をサポートする事業も展開していきたい。その際のポイントとなるのは「コスト」です。従来の機材を使って、現場の人数は最小限に抑え、



柴田大輔氏（左）と秋山昌徳氏

KAIROS クラウドサービスを使ってリモートプロダクションすることで、これだけコストダウンできる。しかも、映像のクオリティや拡張性が高まっていくことを訴求していきたい〉とする。

一方、柴田氏は〈KAIROS を活用したリモートプロダクションサービスにおいて、そのコンテンツに最適なカメラやスタッフの数などをアドバイスするコンサルティング的な役割も果たしていきたい。お客様が一番望むスタイルにするため、技術陣と相談しながら提案していく。当社は企画、撮影、ポストプロダクションに至るトータルなサポート体制を有しています。KAIROS を普段から使い慣れているスタッフがコミュニケーションをうまく取りながら現場を進めていくことができますから、お客様のニーズに最適なソリューションを提供できると考えています〉と話している。

◇パナソニック映像 <https://group.connect.panasonic.com/pvi/>

「高画質 VR」コーナーも人気



「ライブ・エンターテインメント EXPO」パナソニック映像ブースでは、KAIROS クラウドサービスによるリモートプロダクションサービスのほか、「高画質 VR」コーナーも設けられた。

同コーナーは、「VR は 8K から」をスローガンに同社が推進している 8K オーバーの高画質 VR 撮影映像を体験できるもの。多くの来場者が VR ゴーグルを装着し、日本国際観光映像祭 パーチャルツーリズム部門 プレイイベントで最優秀賞を受賞した「8KVR The Beautiful Seasons」を視聴していた。